

令和6年度 社会福祉法人明星会事業計画

1 法人の理念

社会福祉法人明星会は、『みんな幸せになりたい あなたも私も』を基本理念とし、法人が行う福祉サービスが、利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう、支援することを目標としています。

2 法人組織

社会福祉法人に求められていることは、「地域における公益的な活動の推進」「法人組織の体制強化」「法人運営の透明性の確保」であり、利用者及び地域住民等から信任を得続けるよう努めます。

(役員等の構成)

評議員 8 名 理事 7 名 監事 2 名

(会 議)

評議員会 年 2 回以上 事業計画、予算・決算

理事会 年 4 回以上 運営状況、職務執行報告、事業計画、予算・決算

3 事業計画

(1) 明星学園・第二明星学園

ア 運営方針

「明星学園10年構想～グランドデザイン～」の最終年を迎え、どんなに障がいが高くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション支援」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行って来たことを更に向上を目指していきます。

引き続き、様々な障がいと多様なニーズを持っている利用者に対して、異なる価値の共存を認め合う「共生社会の実現」に向けて、利用者一人ひとりの「どんな暮らし」のために「何が必要か」を包括的に考え、求められる活動支援を行っていきます。

家族会との連携、外部機関との連携を図り、支援サービスの向上をめざしてまいります。

イ 理念・憲章・行動基準

理念 『みんな幸せになりたい あなたも私も』

憲章 本当の気持ちを伝えられずに困っている知的障がい・自閉症の方に、「パーソンセンタード」（本人中心）を基本とした、行動すべてが発信であるという「お心主義」の信念で、「意思決定支援」を実践する、あなたも私も幸せになる場所です。

行動基準 ①笑顔で明るいあいさつを、自分から先にします。

②利用者の目線で安全を考え、健康や環境に異常を感じたらすぐに報告し、対応します。

③どんな小さな発信も受け止め、対等、肯定の姿勢で、意思決定をサポートします。

④職員同士で報・連・相を行い、お互いを認め、助け合うチーム支援をします。

⑤家族や地域に情報発信し、情報を共有します。

⑥関わるすべての人に「ありがとう」「助かったよ」を伝えます。

ウ 事業の概要

①施設入所支援

○「お心主義」に基づくパーソンセンタードな支援とプログラムの提供に努めます。

○「自己選択」を尊重した意思決定支援に努めます。

○利用者の心身機能低下に注意し、より個別的な医療・介護の支援を実施します。

○利用者の外出（旅行等）は、利用者の希望に沿って実施します。

○カラオケなど余暇活動に加え、地域行事なども視野に入れ豊かな余暇活動を支援していきます。

○家族の高齢化や世代交代等により疎遠傾向となる家族が増えていますが、家族会役員等と十分連絡調整しながら家族会活動が継続、発展するよう協力します。

○利用者にとって高齢になっても家庭や故郷は心の拠り所です。支援職員を中心に、家族と円滑な交流が継続できるよう、定期的に家庭連絡を行い、利用者の近況や想いを伝えます。

○利用者の個別支援計画等の説明をはじめ不安や要望等について話し合いを行うため、家庭との連携を図るよう年3回程度の機会を設けます。その折、利用者の預り金の確認も同時に実施します。

②生活介護

○利用者個々のニーズを把握し、個別支援計画に沿った質の高いサービス提供を行います。

- 利用者に季節感のあるサービスとしてお花見、明星きらめき祭、餅つき大会、どんど焼き等の季節の行事を実施します。
- 日中活動の充実を図るべく、言語聴覚士（ＳＴ）巡回指導、理学療法士（ＰＴ）巡回指導、アート活動、運動療法、アロママッサージ、アニマルセラピー等のサービス提供を行います。
- 日中活動支援スペース「わくわく」を音楽・アート活動・料理・クラブ活動等に活用し、生活の充実を図ります。また、日中活動の選択肢が広がるようにアイデアを出しながら更に検討していきます。
- 利用者の希望や要望に応じた、外出、買い物等の機会も感染症等に注意し継続して実施します。
- 利用者の自治会「白樺会（しらかば会）」の活動を援助し、活動内容等の決定を利用者自らができるよう意思決定支援を行います。

③短期入所事業

- 短期入所事業は、特に緊急性の高いケースについて優先的に受け入れます。常に部屋の空き状態を確保しながら、地域の「困った」に可能な限り対応できるように努めていきます。

提供場所 「明星学園」・「第二明星学園」・「ヴィラそよ風」

④地域拠点事業

- 地域拠点事業は、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、相談、緊急時の受け入れ・対応等の必要な機能を備えた事業であるが、地域生活支援拠点になるよう努めます。

(2) グループホーム

ア 運営方針

「明星学園10年構想」のとおり3のホームを整備することができました。地域社会で「主体的に生きること」を目指し、「北方のぞみハイツ」、「北方日の出ホーム」「ヴィラそよ風」を含め、利用者15名の皆さんの個々のニーズに即したサービス提供を行います。

余暇活動の充実や、地域行事への積極的な参加・交流を促進し、家庭的で風土色豊かなホーム環境づくりなどに力を入れ、利用者にとってより良い生活環境の提供を目指します。

世話人に併せて本体の職員がより多く毎日グループホームに関わり、支援の充実を図っていきます。

利用者の高齢化など諸々の課題に関しては、これまでどおりグループホーム会議等で検討し、積極的な提案に努めていきます。

イ 事業の概要

①共同生活援助事業

○本体施設の職員が積極的に関わることにより、充実した支援を行います。

毎月、利用者仲間と旅行・ドライブ等の外出の機会を設けます。また、焼き肉、鍋などを囲んで自由に話して楽しく過ごせる時間を提供します。

○飯伊圏域の他のグループホームと連携を図り交流会等に積極的に参加します。

○家族の高齢化や世代交代等により疎遠傾向となる家族が増えていますが、家族と円滑な交流が継続できるよう、定期的に家庭連絡を行い、家族とのつながりが保てるように努めます。

○地域との「つながり」を大切に可能な範囲で参加が図れるように支援します。

○グループホーム利用者の自治組織「なかよし会」の活動を援助し、親睦会等の計画を利用者の意思を尊重し決定できるよう支援を行います。

○地域住民との交流会「焼肉会」を開催します。

(3) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

ア 運営方針

次の事項に配慮し公正かつ中立な事業運営を行います。

- ①利用者の意向を踏まえ、自立した日常生活、社会生活を実現するよう努めます。
- ②利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、地域生活に移行するための活動に関する支援、常時の連絡体制の確保、障がい特性に起因して生じた緊急事態等に速やかに対応する等、必要な支援を適切に行います。
- ③利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った相談支援の提供に努めます。
- ④自らその提供する指定特定相談支援の評価を行い、常にその改善を図るよう努めます。

イ 事業の概要

①基本相談支援（障がい者及びその家族等からの相談）

②計画相談支援（サービス利用支援・継続サービス利用支援）

本年度は、明星学園、第二明星学園、グループホーム合わせて115名程度のモニタリングを中心に行います。

③拠点事業

相談一般支援事業「地域移行支援及び地域定着支援」を行えるよう研究します。

◎事業所共通

① 人材に関する事項

・人材の確保

- リクルート会社「マイナビ」などを利用し、将来に向けての人材の確保に全力を注ぎます。ダイレクトメール等を利用し効果があがるよう検討したい。その他に人材紹介企業、人材派遣の利用を考えます。ホームページやWEBを利用した就職説明会等、ネットの利用を積極的に進め「人材の確保」に取り組みます。
- 長野県知的障がい福祉協会の人材確保の活動に協力「ズーム等を利用した機会に参加します。
- 飯田短期大学等の学校と連携を図り、学生と利用者との交流会、アルバイト、施設訪問等、多くの学生に明星学園を理解してもらえ就職への意識を高めたい。

・人材の育成

- 人権侵害に関する知識を深め、障がい者の人権に関する問題意識を高めます。
- 虐待防止に関する研修を実施し、障がい者を守るよう努めます。
- 世話人の資質の向上を図るため、本体施設で行う内部研修の機会を設けます。外部の世話人研修等へ積極的に参加し、資質向上に努めます。世話人より日常的に寄せられる相談に対し、本体職員が悩みを共有したり、フォロー等を行ない、長期的に従事できる体制を目指します。

・支援技術の向上

- 明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等研修の機会を積極的に活用するとともに、外部研修にも積極的に参加し職員の資質向上と支援力の強化を図ります。
- 内部研修として、月に1度 理学療法士（外部講師）及び言語聴覚士（外部講師）巡回指導を実施し、理学療法士については利用者の運動機能の回復、褥瘡の予防などの指導を行ってまいります。また、言語聴覚士については、嚥下、咀嚼能力に低下がみられる利用者に対し、きざみ食や食事の時の姿勢などについて指導を行ってまいります。課題を抱えている利用者に対し実際に指導して頂けることで職員も十分に理解でき支援技術を身に付けてまいります。
- さらに、毎月課題を決めてレポートを提出してもらうことで、意識・知識の向上及び自己啓発に努めることを目指します。
- 一般常識の研修として外部講師を招き接遇研修を行い、外部の方々に適切な対応がとれることを目指します。
- 研修計画を充実させ、効率的な業務遂行と職員個々の業務に対する自覚や責任感の醸成及び意欲喚起を図るとともに、効率的な業務遂行を進めます。
- 地域の新聞、広報を活用し、明星学園が行っている「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等を福祉関係者等に周知し、地域ともに研修を図りたい。

② 食生活の向上

学園の給食を利用している方は、年齢、体重、作業状態、病弱等で摂取量について幅広く、献立を3通りのグループに分けて作成し、総エネルギーを算出している。

令和5年度は「減塩」と「新しい献立」に力を入れた。新しい献立では、「栄養士手作りおやつ」が定着し、利用者の満足度を上げることができた。また、減塩では明星学園ゆるしお9gと題して、汁物を一日1回ないし2回にすることや、出汁を利かせる調理をすることで、9gを切る事ができる月も増えた。

令和6年度も引き続き「減塩」を志し、利用者が満足のいく献立を出しながら、健康を維持できるよう取り組みたい。また、お一人お一人の食事箋を整え、食事の内容を把握することで嗜好を知り、職員と共に栄養管理を行いながら、利用者の健康と食の自由の向上に寄り添った献立作りをする。

③ 利用者の健康管理と保健衛生

障がいのある方が、そのライフサイクルの中で健康で生き生きとした人生を過ごすには医療との連携が欠かせません。

保健事業として

1. 年に一度利用者の健康診断と歯科検診の実施。

項目：採血(WBC、HD、AST、ALT、CRE、HbALc、TG、T-Chol)

尿(ウロビリノーゲン、潜血、蛋白、糖)

2. 毎月 嘱託医師(伝馬町後藤医院)の往診

3. 飯田市が施行する風疹抗体検査、風疹ワクチン(対象者)

4. インフルエンザ予防接種及び新型コロナウイルスワクチン接種

5. 抗原検査(利用者全員)

利用者の健康管理

定期健診等

・利用者集団検診	年1回	・内科往診	年2回
・定期歯科検診	年1回	・血圧測定	毎月
・歯磨き指導	年1回	・体重測定	毎月
・身長測定	年1回	・定期歯科往診	月4回
・乳癌検診	希望者		

④ 施設設備整備

・明星学園・第二明星学園

全室個室化の推進(改築、増築)を図ってきました。明星学園、第二明星学園の整備はほぼ終了しました。

今後は、居室の改修(和室から洋室へ)を行い、利用者処遇の向上を図りたい。

⑤ 第三者評価

・ 明星保育園

外部機関に依頼し、事業所の現状をありのままに評価してもらうことで、改善していくべき事項を適切に把握する。また、事業所として良い部分も適切に把握し、自信に繋げていく。

事業所ごと3年に一度は受診します。

ウ 感染症対策・BCP

・ コロナウイルス等感染症に充分配慮した支援の環境を整える。

感染症対策計画書の見直しを行う。

レッドゾーン勤務者の事前調査等

発生を想定した対策を準備

- ① 防護服着脱訓練
- ② 感染対策ビデオの視聴
- ③ マニュアルの読み合わせ

エ 事業継続計画（BCP）の策定

作成された計画書により非常災害の発生に備える。

防災備品等の購入を進め、災害に備えていく。

- ①食料の備蓄
- ②発電機の購入等

(4) 認定こども園 明星保育園

保育方針

- 安心、安全で安定した環境の下で、個々の発達に相応しい生活と遊びを保障する。
- 乳幼児期でしかできない直接的体験を通して、一人ひとりの資質・能力を保育教諭や他の園児と共に育む。
- 地域の人々、障がいのある人々との交流を通じて他者の多様性に触れるなかで、自己と他者を受け入れるまなざしの基礎を育む。
- 多文化共生、予測が難しい時代に、おとなも子どもも健全に成長できる地域を実現するために子育ての支援の充実を図る。

1 保育目標

「自分で考えて自ら動ける子ども」

「思いやりの心を持つ子ども」

2 事業概要（保育）

- 運動（外部講師）・・・楽しみながらバランス感覚や柔軟性を育む。
- リトミック（外部講師）・・・音楽やリズムに合わせ体を動かし友達と一緒に楽しむ。
- 絵画（外部講師）・・・創造力豊かに自由な表現を楽しむ。
- 絵本・・・読み聞かせを通して無理なく文字への関心を広げる。
- 音楽・・・歌う、演奏する、聴くなどの自己表現を楽しむ。
- 数への関心・・・日常生活の中から遊びを通して数に親しむ。
- 信州やまほいく・・・米作り体験・園外活動・わくわく山の探索など。
- 地域交流・・・未就園児交流「おひさまくらぶ」、「みつばさ」、「明星学園」との交流。

3 地域の子育て支援事業

- こども誰でも通園制度
- 一時預かり
- 親子相互交流「ぽっかぽか」
- 乳児保育に関する相談、育児講座、援助事業、園庭開放

4 地域、学校機関との連携

- 中学校「福祉の職場体験事業」
- ボランティアの受入れについて「明星保育園ボランティア受入れマニュアル」に基づき積極的に受入れする。
- 保育士の人材育成への協力等を目的に「明星保育園実習生受入れマニュアル」に基づき積極的に受入れする。
- 地域交流（みつばさ）は、感染症対策を行い、ソーシャルディスタンス、換気等の感染対策や人数制限をして行う。
- 地域貢献・・・ふるさとふれあい県文化祭・JA 太鼓・ゴミ拾い

5 行政機関等の連携

○個別支援計画に基づき、市町村・児童相談所・学校・医療・療育などの関係機関とケア会議等を開催し、園児及び保護者の一人ひとりを支えるネットワークを構築します。

6 家庭との連携

○認定こども園として、小学校就学前の子どもに対する保育並びに、保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行う。

○個人面談、クラス懇談、保育参加など通じて子ども一人ひとりの保育園での生活や成長の様子等をお知らせする。

○保育管理システムコードモンを活用し、スマートフォンアプリによる連絡帳、欠席の連絡に加え、孤立を防ぎ安定した親子関係を保つことができるように「お便り」「連絡事項」「アンケート」「行事の様子」「家庭保育中の子どもの様子を自由にアプリに書き込む」等、より一層の充実を図る。

○各種行事への参加、職員と協働で行う環境整備等を通じて良好な関係を築く。

○保育用品（園児服・帽子・かばん）のリユースをし、希望する家庭への支援を行う。

7 人材育成事業等

○キャリア形成や自己啓発の一環として、自主研修における参加費等の補助。

○園内研修や外部研修（リモート研修）に積極的に参加し職員の資質向上に努める。

○職場環境の改善や人材確保の観点から、福利厚生の実施やリフレッシュ休暇等の導入。

○年に一度のストレスチェックにより離職率の改善・生産性の損失防止・個人のスクリーニングを測り、要因を分析する。

8 働き方改革に伴う業務の効率化

○年休取得率の向上や時間外労働の削減に向けて、保育管理システムコードモンを活用し、帳票間の連動で更なる業務の効率化を図る。

○ノー残業デーを毎週水曜日に実施し、職員のライフワークバランスの健康維持に努める。

9 施設整備

○引き続き園庭改革を行い、園児が自ら遊びを作り出せる環境を目指す。

(5) 明星児童クラブ

1 学童保育目標

○一人ひとりの個性が尊重され、他者を主体として受け入れ、受け入れられ、様々な体験を通して学び続ける資質を養う。

○保護者・地域と相互に子育てを支え合う子育て支援を行う。

2 事業概要

○基本的生活習慣を身につけるとともに、遊びや体験を通じて自主性、社会性、創造性を培います。

4 事業所の概要

(1) 明星学園 障害者支援施設 飯田市駄科2250番地

サービスの種類 生活介護サービス 定員 40名

短期入所サービス（併設型） 定員 4名

建物（延べ床面積）：1,842㎡ 敷地面積：6,015㎡

(2) 第二明星学園 障害者支援施設 飯田市駄科2191番地1

サービスの種類 生活介護サービス 定員 60名

施設入所支援サービス 定員 60名

短期入所サービス（併設型） 定員 1名

建物（延べ床面積）：3,175㎡ 敷地面積：7,156㎡

(3) 認定こども園 明星保育園 飯田市鼎切石3928

明星児童クラブ

サービスの種類 保育所型認定こども園 定員 120名

放課後児童健全育成事業 定員 30名

・未満児保育事業

・延長保育事業

・一時預かり事業

建物（延べ床面積）：1,244.93㎡ 敷地面積：3,571.27㎡

(4) グループホーム（北方のぞみハイツ、日の出ホーム、ヴィラそよ風）

サービスの種類：共同生活援助 3棟

（北方のぞみハイツ） 定員 4名

（北方日の出ホーム） 定員 6名

（ヴィラそよ風） 定員 5名

：短期入所サービス（併設型）

（ヴィラそよ風） 定員 1名

・北方のぞみハイツ 飯田市北方68番地7 床面積 183.2㎡

・北方日の出ホーム 飯田市北方61番地7 床面積 171.4㎡

・ヴィラそよ風 飯田市北方2139番地5 床面積 198.7㎡

(5) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

サービスの種類 : 特定相談支援事業所

明星学園一番星 契約利用者 65 名

第二明星学園一番星 契約利用者 36 名

所在地は（建物、敷地）明星学園及び第二明星学園内

5 事業所の職員体制(令和6年4月1日見込)

明星学園		第二明星学園	
園長	1名	園長	1名（兼務）
次長	1名	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名
事務主任	1名（兼務）	事務主任	1名
主任	2名	主任	2名
生活支援員	21名	生活支援員	29名
支援員（パート）	10名	支援員（パート）	10名
事務員	1名	事務員	1名
看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名	栄養士	1名
パート	4名	パート	9名
計	44名（兼務2）	計	57名（兼務2）

わくわく	
主任	1名
支援員	6名
パート	2名
計	8名

グループホーム	
管理者	1名（兼務）
次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）
主任	1名（兼務）
事務員	1名（兼務）
支援員	6名（兼務）
看護師	1名（兼務）
世話人・宿直	14名
計	26名（兼務12）

特定相談支援事業所

明星学園一番星

第二明星学園一番星

所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
運営委員長	1名（兼務）	運営委員長	1名（兼務）
相談支援専門員	5名	相談支援専門員	9名
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
計	10名（兼務5）	計	14名（兼務5）

認定こども園 明星保育園

明星児童クラブ

職種	人数	職種	人数
園長（事務長）	1名	館長	1名（兼務）
保育教諭・保育士	26名	副館長	1名（兼務）
保育士補助	3名	放課後児童支援員	2名（兼務）
事務・栄養士・看護師・ 調理師・養護教諭	8名	支援員補助	1名（兼務）
計	38名	計	5名（兼務）

参 考 資 料

明星学園・第二明星学園・グループホーム利用者の状況(令和6年4月1日見込)

①支援区分別 明星学園 第二明星学園

支援区分	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
区分6	29名	28名	32名	31名
区分5	8名	8名	29名	25名
区分4	4名	4名	8名	5名
区分3	1名	0名	4名	0名
区分2	0名	0名	1名	0名
合計	42名	40名	74名	61名

②出身地の状況(施設入所者)

当圏域(飯田市、下伊那郡)	25名(明星)	33名(第二明星)
長野県内の市町村	15名(明星)	28名(第二明星)

グループホーム(のぞみハイツ・日の出ホーム・ヴィラそよ風)

①支援区分別

支援区分	共同生活援助
区分6	1名
区分5	4名
区分4	3名
区分3	5名
区分2	1名
区分なし	1名
合計	15名

②出身地の状況

当圏域(飯田市、下伊那郡)	13名
長野県内	1名
長野県外	1名

認定こども園 明星保育園 園児の状況（令和6年4月1日見込）

1 園児の状況

■令和6年度4月からの利用人数（利用定員120名）

4月1日現在（単位：人）

クラス	1号	2号（短）	2号（標）	3号	合計
0歳児	/			6	6
1歳児				14	14
2歳児				26	26
3歳児	3	10	12	/	25
4歳児	3	14	13		30
5歳児	6	9	11		26
合計	12	33	36		46

■地区別園児数

4月1日現在（単位：人）

クラス	鼎	伊賀良	松尾	上郷	その他
0歳児	2	0	0	1	3
1歳児	11	0	1	0	2
2歳児	19	0	0	2	4
3歳児	19	0	0	0	6
4歳児	24	0	0	0	5
5歳児	17	1	1	0	7
合計	92	1	2	3	27